

11月16日

全国報徳サミット開催

桜川市大会

11月16日（土）大和ふれあいセンター「シトラス」で、第29回全国報徳サミット桜川市大会が開催されます。全国報徳サミットは、二宮尊徳の教えである「報徳仕法」の検証を通じて、これからのまちづくり・ひとづくりに必要な取り組みを学び生かすために、毎年二宮尊徳ゆかりの地で開催されています。当日は、参加自由・入場無料となっておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

■問合先／桜川市報徳サミット実行委員会（☎0296-20-6300）

【大会内容】 9時開場・9時20分開会

- オープニングイベント 加波山^{ばやし}囃子保存会
- 開会行事
- 報徳学習発表
 - ・大国小学校5年生児童による発表
 - ・夢さくら交流会（市内中学校・義務教育学校後期課程生徒会）生徒発表
- 基調講演

講師／早田^{はやた}旅人氏（平塚市博物館 学芸員）

演題「報徳仕法における公共性と再分配
—常州真壁郡青木村仕法を中心に—」
- パネルディスカッション
- 大会宣言決議
- 閉会行事



【特設コーナー】

- ・二宮尊徳絵画コンクールの作品展示
- ・桜川市の特産品を販売
- ・手打ち常陸秋そば、コーヒーの無料提供（数量限定）

二宮尊徳ゆかりの史跡の紹介

農民の子として育ち、一家離散に遭うが苦難を乗り越え、よく働き勉強した尊徳は、やがて多くの藩の仕法に着手し、村の建て直しを行いました。

■青木堰

天保4年（1833年）尊徳47歳のときに青木地区を流れる桜川に堰を築きました。現在の青木堰は、令和3年度に大規模改修工事により改築されました。小学3・4年生が使用する社会科副読本にも青木堰の話が掲載され、尊徳の偉業を授業で学習しています。

■^{くんせいざん} 嚙静山薬王寺（青木地区）の山門

尊徳が築いた青木堰の木材を使い建てられた遺跡記念門です。

■青木神社

尊徳が修理した青木神社の境内には、これを記念して青木村名主館野勘右工門が寄進した「手洗い石」があります。なお、令和6年7月、正徳5年（1715年）に建てられた本殿の大規模改修が行われました。



青木堰を見学する児童たち



嚙静山薬王寺（青木地区）の山門



青木神社



手洗い石

S sakuragawa public relations
Sakuragawa
—広報さくらがわ—

✳ CONTENTS

- 02 全国報徳サミット開催
- 03 生涯学習センター通信
- 04 全国学力・学習状況調査結果
- 06 行政情報／ジオパーク NEWS
- 07 まちの話題
- 08 ご長寿紹介
- 09 就職祝金・雇用奨励金／青少年の主張大会
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 市観光 PR 動画が完成／年長さんご紹介

✳ 表紙

このまちの安全・安心を願って



10月12日、さくらがわ応援大使の安達勇人さんが桜川警察署の一日署長を務めました。

表紙は、茨城県警察のマスコットキャラクター「ひばりくん」とともに街頭キャンペーンを行う安達さんを撮影したものです。

安達さんは防犯の合言葉「鍵かけ、声かけ、心がけ」を紹介し、地域の安全と安心を呼びかけました。

✳ 桜川市の人口と世帯

【人口】 36,120人（－48）
【男】 17,970人（－35）
【女】 18,150人（－13）
【世帯】 13,550世帯（＋4）
（ ）は対前月増減
常住人口
令和6年10月1日現在